



第18号

平成24年8月10日

JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
Japanese Association of Social Workers in Health Services

東日本大震災 MSW災害支援ニュース



群馬県・伊香保グリーン牧場

目次

1. 災害対策本部からのお知らせ
2. 現地支援活動報告
3. 事務所・現地感想文

災害対策本部からのお知らせ

協力員募集！！

引き続き協力員を募集しています。

＜現地＞現地の業務状況を鑑み、当面は制限なく受け入れを行います。

中3日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。

8月、9月についてもまだまだ空いております。

＜事務所＞平日のみの活動ですが、1～2ヶ月に1回でも構いません。

皆様のご協力をお願いいたします。

次回災害対策本部会議について

次回は9月7日（金）19:00～協会事務所にて開催します。

ご意見や検討事項がありましたら、**9月3日（月）までに**災害対策本部まで、電話やメールでお寄せ下さい。

書籍販売のご案内

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン1』の販売を行なっています。

発災から9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。

尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。下記よりダウンロードしてください。

URL：http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=45



Facebookでも情報をお伝えしています！



現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。
応援よろしくお願いたします。

-Facebook URL-

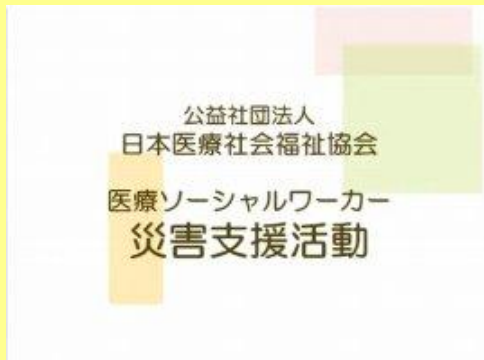
<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

YouTube に動画をアップしました！

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんがVTRにまとめ下さいました。

You Tubeにアップしましたので、是非ご覧ください。

「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



- YouTube URL- <http://www.youtube.com/watch?v=vn3419h5rJ4&feature=youtu.be>

現地・事務所職員募集！！

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。

災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。

または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。

(1) 現地常駐者（短期契約職員）

- ・就業場所：宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間：9～17時 ※業務の関係で残業あり。
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000円/月 通勤費は実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇。月単位でも応相談。

(2) 災害対策本部事務所担当（パート職員）

- ・就業場所：協会事務局内
- ・就業時間：週3日程度 10～17時
※業務の関係で残業あり。
※頻度・時間は応相談。
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900円～ 通勤費は実費支給
- ・経験不問、医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送り下さい。面接にて決定させていただきます。

または災害対策本部までお気軽にお問い合わせ下さい。

〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷ヂンゴビル

TEL：03-5366-1057 担当：笹岡・中川

現地支援活動報告

富永 千晶（神奈川県 大倉山記念病院）

期間：7月26日

今回は、神奈川県医療社会事業協会の枠で日帰りでの活動でした。（4回目の参加ということもあって承認であったのだと思います。）

リピーターならではの感想だと思いますが、3月から関わっているクライアントが一人います。ほぼ担当という感じで支援計画や自宅訪問をさせていただいていました。このこともありますが、私の中で肝に銘じていることがあります。

それは、「協力員はあくまでも協力員であり、継続支援が保障できない状況での関わりであることを常に意識する」ということです。中途半端な関わりが、そのクライアントにとってマイナスになる可能性が高くなるのではないかと思います。不完全燃焼な支援かもしれませんが、私はこれでよいのだと思います。もし継続の必要があれば、現地スタッフのみなさんがしっかりと継続支援をしてくださることを知っているので安心して「バトン」を渡すことができるのです。この活動を通じて、自分自身の支援のあり方を常に深く考えるようになりました。

1日だけの強行スケジュールでしたが、とても有意義な時間を過ごせました。

現地感想文

8月1日（水）

久保木美由紀（現地担当）

石巻では川開きのお祭りが行われました。

7月31日は流灯が旧北上川を流れ、商店街には灯籠に灯りがともされ、震災犠牲者の方の冥福をお祈りしました。

本日は花火大会で街はにぎわい、夜空に打ちあがった花火がとてもきれいでした。

8月3日（金）

江藤峻介（神奈川大学病院連絡会）

支援で携わった何気ない住民の言葉の端々からも、震災の傷跡が人々に深く残り、生活全般の多岐にわたる支援の必要を強く感じます。

二日間にわたり川開き祭りが開催されました。犠牲者の冥福を祈る灯籠流し、花火大会が行われました。若者が町にあふれ、普段は人気のない道も、通るのが一苦労な程です。活気に満ちた石巻の姿から熱いパワーを頂きました。

事務所感想文

8月3日（金）

富永（大倉山記念病院）

1ヶ月ぶりの事務ボラでした。宿題が初めてのホームページへの日報アップとハードルが高くて冷や汗をかきながらなんとか遂行することができました。

少しずつ、やれることが増えるのは楽しいです。次回の宿題はお手柔らかにお願いします！